

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市郡山老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 人（前年度比 ○○%） 令和元年度 25,929人（前年度比92.1%） 平成30年度 28,146人（前年度比97.6%） 平成29年度 28,823人（前年度比102.2%）</p> <p>《事業》 元気サポートクラブや愛好会等へのボランティア（87回、延べ1,389人）、老人福祉センター環境美化活動（除草）（4回 延べ22人）、ヨガ教室（22回、延べ334人）、太極拳教室（24回、延べ223人）、編み物教室（21回、延べ87人）、絵手紙教室（12回、延べ170人）、七夕飾り作り（1回、延べ21人）、昔遊び（1回、延べ12人）、歴史散策（3回、延べ63人）、歴史カフェ（2回、延べ55人）、映画鑑賞会（13回、延べ221人）、コーヒーの入れ方教室（11回、延べ142人）、カラオケ大会（1回、延べ42人）、シャンソンコンサート（1回、延べ69人）、節分祭（1回、延べ28人）、わいわい演芸まつり（1回、延べ85人）、行政書士無料相談会（10回、延べ20人）、税理士無料相談会（11回、延べ25人）、こおりやまカフェ（6回、延べ110人）、頭々の健康教室（39回、延べ747人）、シニアボランティア育成講座3回シリーズ（1回、延べ12人）、シニアボランティア講座体操編8回シリーズ（1回、延べ10人）、嘱託医による衛生講話（6回、延べ96人）、中学生の職場体験受け入れ</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 44,458千円 （44,088千円） ・ その他市が負担した費用 5,589千円 （ 713千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート又は利用者会議等の方法により利用者の声を把握している。また、意見箱の設置、窓口アンケート、運営委員会、第三者委員会による苦情解決相談窓口の開設を行い対応している。その他、利用者から職員へ直接要望等を聞く場面も多くあった。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 併設の児童館やコミュニティセンターと合同で避難訓練や防災訓練を実施しているほか、福祉避難所訓練や地域防災訓練に参加するなど、事故や災害の発生に備えている。また、連絡体制や職員の役割分担を予め決めているなど、対応体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、ポスターの掲示や呼びかけを行い、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行など、広報紙の配布先を増やすなど利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。	28/28

V	施設固有の基準	<p>高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。</p> <p>また、利用者の代表者で構成する委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。</p>	9/9
---	---------	---	-----

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》	
<p>老人福祉センター主催の介護予防運動教室や、自主グループの事業運営に併設デイサービスセンターの作業療法士等と共同で行うなど、複合施設のメリットを活かして運営した。高齢者の生活相談機能の強化を図る為、併設のデイサービスセンター、地域包括支援センターと情報共有を図る等連携した運営を行った。</p> <p>センター利用者代表で構成された運営委員会での意見や窓口アンケートに寄せられた意見等について利用者の立場に立った視点で検討し、利用者目線でのセンター運営改善に努めた。</p> <p>また、老人福祉センターの講座や自主グループの運営については、高いスキルや特技などをお持ちの利用者に活躍してもらう「利用者主体」の運営の促進に努めた。毎月発行のセンターだよりを概ね郡山中学校区内の自治会に配布したり、市民センター等の公共施設に置いて頂くなど、広報活動の強化に努めた。また、併設の児童館との世代間交流事業を開催した。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>デイサービスセンター、地域包括支援センターをはじめとする、関係機関と連携した事業の実施を行っている。また、浴室入口前に健康相談コーナーを設置し、入浴前の健康確認や、健康相談が気軽に実施できるよう工夫を凝らしている。各種の教室などでは利用者が自らの特技を生かし、趣味の教室の講師を務めるなど利用者主体の運営にも努めている。</p> <p>また、利用者の要望を考慮し、利用者の送迎、シニアボランティア育成講座・シニアボランティア講座(体操)の開催、併設する児童館の草刈りなどボランティア育成にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>そのほか、併設の児童館との交流事業の開催により、地域の子供たちと世代間交流を図っているほか、地域委員会を開催し、町内会や老人クラブ等と連携し、地域ニーズの把握に努め、センター運営に反映させるよう取り組んでいるなど、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健高齢部高齢企画課